



## 「GFR値」について

最近、テレビコマーシャルで「慢性腎臓病にGFR値が重要」と言っていました。

「GFR値」とは何ですか？

腎臓は腰の少し上にあり、そら豆のような形をした臓器で、にぎりこぶし大の大きさで左右に1つずつあります。

腎臓では糸球体と呼ばれるところで、血液をろ過して老廃物を尿として排泄する働きがあります。「GFR」とは糸球体ろ過量のことを言い、最近では、血清クレアチニン値、年齢（18歳以上）、性別から計算式で求められる「eGFR(estimated Glomerular Filtration Rate)」推定糸球体濾過量が診断の目安として用いられています。

計算式：
$$\text{eGFR 男 (ml/分/1.73m}^2\text{)} = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{年齢}^{-0.287}$$
$$\text{eGFR 女} = \text{eGFR 男} \times 0.739$$

血清クレアチニン値は健康診断でも測定していることがあるので受診された方は結果を確認してみてください。

eGFRは腎臓にどのくらい老廃物を尿へ排泄する能力があるかを示しており、数値が低いほど腎機能が低いということになります。

当院では土曜日も終日外来診療を行っております。ご利用ください。

	G1	G2	G3a	G3b	G4	G5
eGFR値*	90以上	89～60	59～45	44～30	29～15	15未満
腎臓のはたらきの程度	 正常	 軽度低下	 軽度～ 中等度低下	 中等度～ 高度低下	 高度低下	 末期腎不全
治療の目安		生活改善		食事療法・薬物療法		透析・移植について考える
						透析・移植の準備

参考：NPO法人 腎臓サポート協会

上の表のように、eGFRが59以下の状態が3ヶ月以上続いていたり尿検査や血液検査で腎障害がある時、慢性腎臓病と診断される可能性があります。

慢性腎臓病「CKD (chronic kidney disease)」とは慢性に経過するすべての腎臓病を指します。新たな国民病と言われ、20歳以上の8人に1人が罹患するとされています。

早期発見、早期治療が重要ですが、初期には症状が乏しく、気が付きにくい病気です。

早期発見には定期的な血液検査や尿検査が大切です。年1回の健康診断は必ず受け、気になる事がある時には早目に受診し医師に相談しましょう。

参考：一般社団法人 日本腎臓学会 編 (2012) CKD診療ガイド

